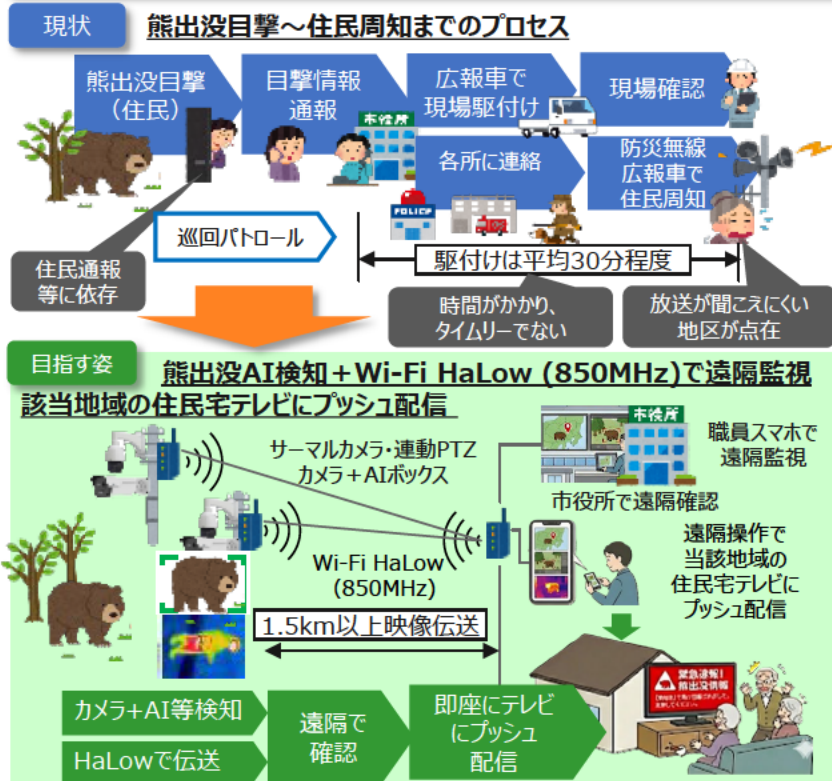


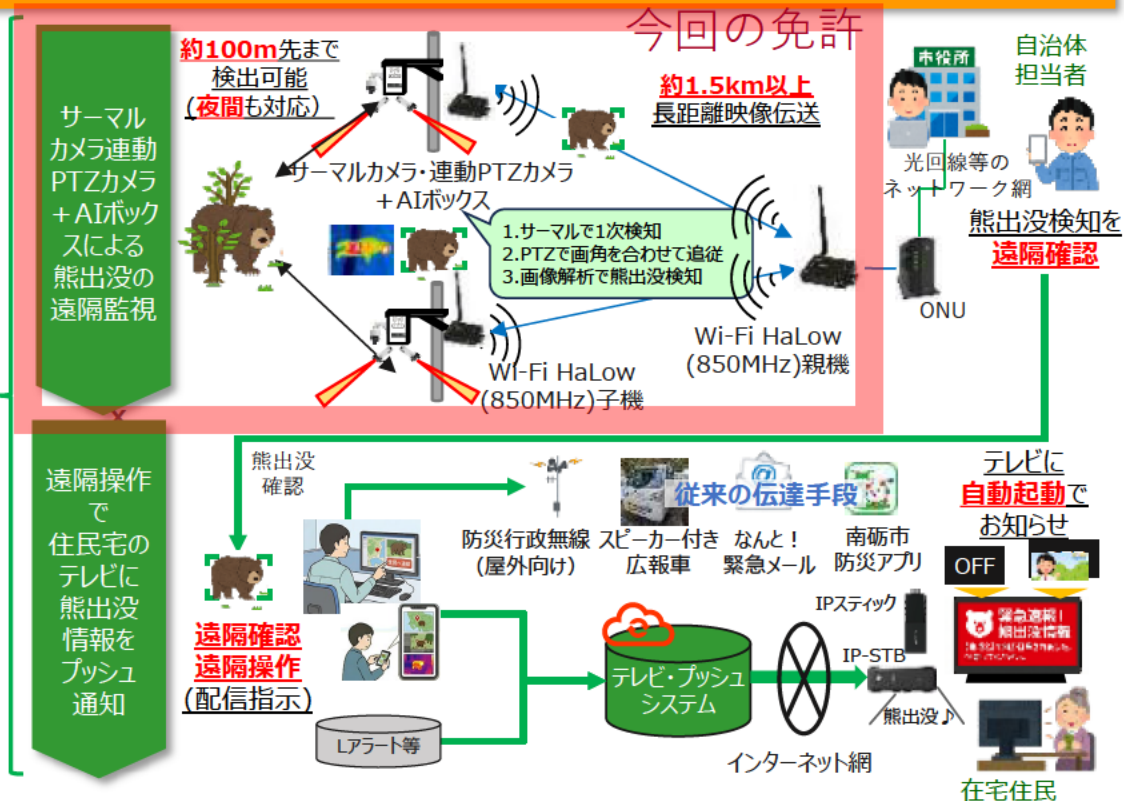
Wi-Fi HaLow (850MHz) + サーマル・PTZカメラによる熊出没遠隔検知と宅内情報伝達実証 別紙1

実施体制 (下線：代表機関)	イツ・コミュニケーションズ、南砺市、日本ケーブルラボ、となみ衛星通信テレビ、日本DXアンテナ、Cueform	実証地域	富山県南砺市
目標	サーマルカメラ・連動PTZカメラ+AIボックスとWi-Fi HaLow (850MHz)により、熊出没の自動検知、遠隔監視を行い遠隔操作により、住民宅のテレビにプッシュ通知することで、在宅住民が熊出没情報をタイムリーに把握。	通信技術	Wi-Fi HaLow (850MHz)
実証概要	- 実証地区2箇所に、複数台のサーマルカメラ・連動PTZカメラ+AIボックスを設置し、熊出没検知を自動化。Wi-Fi HaLow(850MHz)を活用し、約1.5km以上の長距離映像伝送で、既設のネットワークに接続する。これにより、自治体職員が庁舎や外出先から遠隔確認できる環境を整備し、人的負荷の軽減効果を検証する。 - 熊出没検知の際、自治体職員が遠隔操作により住民宅のテレビに通知する。宅内にいる住民に対し、テレビを活用した情報伝達が防災行政無線等、他の伝達手段よりも情報伝達力が高いと、及び検知（現在は目撃情報）から周知までの時間短縮を検証する。		

現状・課題 → 目指す姿



実証イメージ



横展開候補先 近隣自治体（調整中）、全国ケーブルテレビ事業者等